資料2

資料3　課題・方針・措置対応表（基本方針別）

○実施　△ゼロ予算で実施

◎は主として取り組む主体
○は協力して取り組む主体

保存と活用に関する課題	基本方針		事業名	事業内容	計画期間									取組主体				財源
					前期			中期			後期			行政	専門家	団体	町民	
					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
文化財の把握が不十分	文化財を掘り起こす（調査）	1	「いまかね遺産」選定会議の開催	悉皆調査「いまかね遺産」で提出された候補物件を地元町民により選定。選定会議を定期開催し「いまかね遺産リスト」を更新する。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
		2	カニカン岳金山跡総合的把握調査	採掘坑や露頭掘り跡、鉱山臼散布域、拠点的な作業場等、所在確認調査や文献調査を実施し、鉱山の全容を解明する。							○	○	○	◎	○		○	町
		3	マンガン鉱山総合的把握調査	保管資料の基礎的調査を進めるとともに、鉱山現地での所在確認調査や文献調査を実施し、鉱山の全容を解明する。				○	○	○				◎	○	○	○	国補助
		4	重要遺跡所在確認調査	把握調査で確認された重要遺跡（チャシ跡、縄文遺跡等）の所在確認・試掘調査を実施し、今後の保存整備に向けた基礎資料とする。	○	○	○							◎	○	○	○	国補助
		5	史跡ピリカ遺跡基本調査	ピリカ遺跡の年代的位置づけを明らかにするため、理化学測定を実施。これまでの未報告分の調査報告書の刊行。	○	○	○							◎	○		○	国補助
		6	歴史的建造物・古民具・祭礼基本調査	古民家や古民具を調査し、保存すべきものを把握するとともに、祭礼について聞き取り調査し、その由来や失われたものを把握する。				○	○	○				◎	○	○	○	町
		7	ピリカカイギュウ化石の専門的研究	ピリカカイギュウ化石の価値づけを実現し、今後の普及啓発の基礎とする。				△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
担い手の減少と高齢化	文化財を守る（保存）	1	文化財の指定・登録	専門家による価値付けや把握調査で認知された文化財の指定・登録物件を増やし、保存と活用を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○			町
		2	美利河砂金採掘跡の保存整備	安全に見学できるような環境整備、解説案内板を設置し、学校教育・社会教育両面での活用や観光活用を図る。	○	○	○							◎	○		○	国補助
		3	定期的な講習会を通じたボランティア養成	既存の団体を中心に地元の子どもたちや町内外に呼び掛け、講習会を通じてボランティアガイドを要請し、歴史文化の保存と継承を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
歴史文化を学ぶ、伝承する機会が少ない	文化財を磨き上げる（活用）	1	史跡ピリカ遺跡に関する調査研究成果の公開、活用	ピリカ遺跡の調査研究成果を公開するセミナーを通じ、その歴史的意義を広く周知し、併せて住民団体の育成を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
		2	ピリカフットパスコースの整備／周遊アプリの開発	美利河地区の多様な文化財を周遊できるコースを整備し、学校教育・社会教育両面での活用はもとより、観光資源としても活用を図る。技術開発は大学連携により行う。	△	△	○							◎	○	○	○	国補助
		3	歴史文化を活かした観光活用	「北海道遺産」第4回選定に申請（申請中）し、関係課・関係機関と連携し、町外の関連遺産等とつながる周遊ルートを設定する。	△	△	△	○	○	○	△	△	△	◎	○	○	○	町・民間補助
		4	ピリカカイギュウ化石の特設展示場整備	化石発見地点の案内板を整備（デジタル復元）するとともに、復元骨格模型や町内産化石の展示場を整備し、教育資源・観光資源として活用する。							○	○	○	◎	○	○		国補助
		5	マンガン鉱山の再現展示	既存のコーナーを整備し直し、鉱山全景のジオラマ制作のほか、貴重な動力機械を活用した再現展示等に取り組み、稼働時の様子を臨場感もって伝えられる整備を実施。							○	○	○	◎	○	○	○	国補助
		6	国鉄瀬棚線の再現展示	既存のコーナーを整備し直し、ジオラマ制作や関連資料を一堂に集め、町の発展に果たした国鉄瀬棚線の功績を後世に伝える。							○	○	○	◎	○	○	○	町
		7	学校教育での「ふるさと学習プログラム」の導入	総合的な学習の時間等で各種体験プログラムを年齢に応じて提供し、子どもたちが確実に今金町の歴史文化を学ぶしくみを導入。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	◎	○	町

※行政：町教委・連携課／専門家：大学・研究機関／団体：町内の支援団体・機関／町民：個人・町内会自治会

資料4　課題・方針・措置対応表（関連文化財群別）

○実施　△ゼロ予算で実施

◎は主として取り組む主体
○は協力して取り組む主体

基本方針		事業名	事業内容	計画期間									取組主体				財源
				前期			中期			後期			行政	専門家	団体	町民	
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
大型カイギュウが暮らした地																	
調査	1	ピリカカイギュウ化石の専門的研究	ピリカカイギュウ化石の価値づけを実現し、今後の普及啓発の基礎とする。				△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
保存	2	定期的な講習会を通じたボランティア養成	既存の団体を中心に地元の子どもたちや町内外に呼び掛け、講習会を通じてボランティアガイドを要請し、歴史文化の保存と継承を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
活用	3	ピリカカイギュウ化石の特設展示場整備	化石発見地点の案内板を整備（デジタル復元）するとともに、復元骨格模型や町内産化石の展示場を整備し、教育資源・観光資源として活用する。							○	○	○	◎	○	○		国補助
活用	4	発掘地点案内板等の再整備	現在の案内板が老朽化しているため、これまでの調査成果を総括した解説案内板を整備し、見学学習の利用に供する。デジタル復元については大学と連携。	△	△	○							◎	○	○		国補助
旧石器時代の一大石器製作拠点・ピリカ遺跡																	
調査	1	史跡ピリカ遺跡基本調査	ピリカ遺跡の年代的位置づけを明らかにするため、理化学測定を実施。これまでの未報告分の調査報告書の刊行。	○	○	○							◎	○		○	国補助
保存	2	定期的な講習会を通じたボランティア養成	既存の団体を中心に地元の子どもたちや町内外に呼び掛け、講習会を通じてボランティアガイドを要請し、歴史文化の保存と継承を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
活用	3	史跡ピリカ遺跡に関する調査研究成果の公開、活用	ピリカ遺跡の調査研究成果を公開するセミナーを通じ、その歴史的意義を広く周知し、併せて住民団体の育成を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
活用	4	ピリカフットパスコースの整備／周遊アプリの開発	美利河地区の多様な文化財を周遊できるコースを整備し、学校教育・社会教育両面での活用はもとより、観光資源としても活用を図る。技術開発は大学連携により行う。	△	△	○							◎	○	○	○	国補助
豊かな鉱物資源により特徴付けられる鉱山文化																	
調査	1	カニカン岳金山跡総合的把握調査	採掘坑や露頭掘り跡、鉱山臼散布域、拠点的な作業場等、所在確認調査や文献調査を実施し、鉱山の全容を解明する。							○	○	○	◎	○		○	町
調査	2	マンガン鉱山総合的把握調査	保管資料の基礎的調査を進めるとともに、鉱山現地での所在確認調査や文献調査を実施し、鉱山の全容を解明する。				○	○	○				◎	○	○	○	国補助
保存	3	美利河砂金採掘跡の保存整備	安全に見学できるような環境整備、解説案内板を設置し、学校教育・社会教育両面での活用や観光活用を図る。	○	○	○							◎	○		○	国補助
保存	4	定期的な講習会を通じたボランティア養成	既存の団体を中心に地元の子どもたちや町内外に呼び掛け、講習会を通じてボランティアガイドを要請し、歴史文化の保存と継承を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町
活用	5	歴史文化を活かした観光活用	「北海道遺産」第4回選定に申請（申請中）し、関係課・関係機関と連携し、町外の関連遺産等とつながる周遊ルートを設定する。	△	△	△	○	○	○	△	△	△	◎	○	○	○	町・民間補助
キリスト教団体が入植した地																	
調査	1	文書史料の把握調査	連携課（町史編纂）と連携し、天沼家文書、丸山家文書、教会関係文書等、町教委として未調査の文書史料の把握調査を進め、開拓資料の記録化と町史の基礎資料とする。	△	△	△	△	△	△				◎	○	○	○	町
保存	2	歴史的建造物把握調査と保存措置	今金インマヌエル教会等、キリスト教団体の入植に関わる歴史的建造物の把握調査を進め、指定化を進めるとともに、老朽化対策を講じる。	△	△	△	○						◎	○	○	○	国補助
保存	3	定期的な講習会を通じたボランティア養成	既存の団体を中心に地元の子どもたちや町内外に呼び掛け、講習会を通じてボランティアガイドを要請し、歴史文化の保存と継承を図る。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	○	○	○	町

：行政：町教委・連携課／専門家：大学・研究機関／団体：町内の支援団体・機関／町民：個人・町内会自治会・所有者